

静岡県民間子育て支援活動応援事業の採択を受けた「親子が集う遊びプロジェクト」が大成功!!

- ★10月18日 親子子育てサロン (第1回)
- ★10月24日 自然体験学習 (パート①)
- ★11月14日 どんご遊びの会
- ★11月25日 自然体験学習 (パート②)
- ★12月3日 世代間交流会
- ★12月12日 親子子育てサロン (第2回)
- ★1月10日 絵本の読み聞かせ
- ★2月7日 親子子育てサロン (第3回)
- ★2月19日 お話の会
- ★3月6日 食育講演会と手作りおやつ

プロジェクト開催当初は、男女共同参画推進室にとっても初めての試みでしたので、どれくらいの子が参加してくださるのか不安でした。しかし、回数を重ねるごとに、参加者の数が増え、行ってよかったと実感しました。

毎回、充実した内容となるように、アイデアとお力添えをいただいた「たんぽぽ保育園」「しずおか環境教育研究会」、学生サークル「AVEC」、その他ご協力いただいた方々に深く感謝いたします。

これからも、このような取り組みができるよう、知恵を出して、工夫しながら頑張っていきたいと考えています。



~お知らせ~

① 浜松キャンパスで学童保育所「キッズ・ラボ」開設

今年の春休みも浜松キャンパスで学童保育所を開設しています。今回は、運営を株式会社ポピンスへ委託しています。

② 制度の変更

◆研究支援員制度

一年を通じて必要なときに利用申請を行うことができるようになりました。

◆学会参加時等保育支援制度

学会だけでなく、入試業務へ従事するときも支援の対象となりました。

③ 男女共同参画行動計画の更新

男女共同参画行動計画の計画期間が2012年度末で満了するので、新たな行動計画を策定しました。新しい計画の内容はホームページをご覧ください。

④ 男女共同参画推進室が学則上で位置付け

学内措置による組織であった男女共同参画推進室が、2013年度から学則上の組織となります。

⑤ 「ジェンダー関連科目」の受講

2013年度前期の履修登録では、「ジェンダー関連科目」をできるだけ受講するようにしてください。「ジェンダー」について学ぶと、固定観念にとらわれず、自由な発想ができて、豊かな人生の展望が持てます。シラバスで「ジェンダー」や「男女共同参画」など、キーワードやフリーワードで検索してみてください。

⑥ 「あざれあ」の利用

男女共同参画推進室が、静岡県男女共同参画センター「あざれあ」の登録団体となっています。施設利用の優先予約などが可能です。施設利用をお考えの場合は、当室までご連絡ください。

静岡大学女性研究者 ランチミーティングを行いました

3月15日(金)、12時から13時半まで、本学の理系女性研究者が多目的保育施設「たけのこ」でランチを食べながら、理系の女子学生の就職のこと、将来のことなどを話し合いました。女子高校生が理系学部へ進学しやすい環境、女子学部生が大学院へ進学しやすい環境、女性研究者が働きやすい職場など、いろいろな事柄について、活発に意見交換をすることができました。

あっという間に時間が過ぎ、まだまだ話は終わらないようでしたが、今後の参考になる意見がたくさんありました。

女性研究者同士、お互いの話を聞く機会を持つことは、普段、個人では気が付かないことに触れることができたり、共感し合えることができ、とても貴重な時間となりました。参加して下さったみなさん、ありがとうございました。

4年間を振り返って

平成21年4月に男女共同参画担当副学長を拝命し、文部科学省の「女性研究者支援モデル育成事業」に採択されてスタートしたばかりの男女共同参画事業を、発展・定着させるという任務に4年間取り組んで参りました。

幸い学内外の多くの方々のご尽力により、静岡大学は、地方国立大学として可能な取り組みをすべて実現することができ、平成22年度の法人評価において「特筆すべき進捗状況」、平成23年度の事後評価において「S」評価をいただき、平成24年度には静岡県から「男女共同参画社会づくりに関する知事褒賞」を頂戴しました。特に学童保育や多目的保育施設の設置に向けて共に歩んで下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

まだ国際的に見て女性研究者の割合は低く、男女を問わずケア責任を抱えた者のワークライフバランスの課題は残っています。次の世代にバトンを渡しますので、ぜひ新しい発想で更なる取り組みを続けてください。私は1年後に定年を控え、研究者として成すべき課題に向かいます。皆様、ありがとうございました。

(男女共同参画推進室長 船橋恵子)

静岡大学
男女共同参画推進室

男女共同参画ははじめの一步

日本では理系女子(リケジョと呼ぶ)の増加が必要です。少子高齢化などにより、若手労働力人口の減少が深刻になっています。特に科学技術立国を標榜する日本では科学技術に携わる若手労働力人口が必要であり、理系女子の増加は国の存亡に関わっています。

しかし、日本は巨艦で、高度経済成長期や安定成長期に良妻賢母教育を受けてきたお母さん達に、「娘さんに理系女子を勧めてね。」と言っても急に向きは変えられません。「理系女子になってよかったね。」と思わせるような、継続的な支援と啓蒙の草の根運動が必要です。

本学でこの活動をして頂いているのが、男女共同参画推進室(理系女子の支援と啓蒙だけに限ってはいませんが)です。昨年、浜松市の男女共同参画セミナーで講師として講演する機会がありました。「なぜ、研究所長に。最も相応しくない人選だろう。」思っ、企画者に真意を聞いたところ、「最も相応しくない人にまず男女共同参画を知ってもらうことが重要だと思っています。」とのことで、「なるほど。そうきたか。」と感心しました。

そこで、まず本学の男女共同参画の取り組みを知るべく、男女共同参画推進室のホームページを訪ねたわけです。そこには、数々の取り組みが記載されていました。この男女共同参画推進室は平成20年に設置され、平成24年度には男女共同参画社会づくりに関する先駆的な活動と取り組みが評価され、静岡県の知事褒章を受賞しています。

講演したセミナーで、男女共同参画推進室の取り組みを紹介したところ、「いちばん遅れていると思った大学がすでにこんな取り組みをしているのですか。企業より進んでいますね。」と参加者に褒めの言葉をもらいました。私のような男女共同参画初心者の皆さん。まず、男女共同参画推進室のホームページを訪ねて、男女共同参画へのはじめの一步を踏み出しませんか。

(電子工学研究所長 三村秀典)



〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
☎054-238-3052 FAX 054-238-3274
<http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/takenoko@adb.shizuoka.ac.jp>